

# 銅「アルミ自社造形」を開始 白 金属3Dプリンター、2基日増設

非鉄金属大手商社の「形」を開始する。品種  
白銅(社長・角田浩司) 拡充に合わせて約1億  
氏)は4月3日から金 円を投じて神奈川工場  
属3Dプリンターを利 に2基目の3Dプリン  
用した「アルミ自社造 ターを増設。マルエー

の鋼種をメインに金属  
造形事業を展開してい  
た。15年1月に事業を  
スタートして以来、開  
発段階の試作ニーズを  
取り込むかたちで事業  
を展開してきたが、軽  
量かつ熱伝導性の高い  
アルミを求める声が高  
まっていたため、設備  
を増設した上でアルミ  
をラインアップするこ  
とを決めた。今後、軽

造形サイズは1400ミ  
×1400ミ×1000ミ  
で、新たにラインアッ  
プするアルミ合金「Al  
Si12」を造形する。同  
合金はJISではアル  
ミ鋳物用材料「ADC  
1」に相当する。  
白銅は3Dプリンタ  
ー2台体制で「試作ニ  
ーズの取り込みはもち  
ろん、量産品の獲得に  
も注力していきたい」  
(石塚伸一3Dプリン  
ター課長)考え。新規案  
件の獲得に向けて、名  
古屋機械要素技術展  
(4月12～14日)や「人  
とくるまのテクノロジ  
ー展2017名古屋」  
(6月28日～30日)に出  
展し、3Dプリンター  
による金属造形などを  
アピールする。

また対応品種拡充に  
向けては、航空宇宙用  
材料に利用されるチタ  
ンやニッケルといった  
鋼種のニーズ調査を推  
進。さらに大学の研究  
室と連携して日本市場  
で一般的に使用される  
ステンレスやアルミ合  
金の共同開発も進めて  
いく方針。

シング鋼とSUS63  
0の既存ラインアッ  
にアルミを加えること  
で幅広いニーズに応え  
ていく。

白銅は米・3Dシス  
テムズ社の高精度プリ  
ンターを活用し、マル  
エーシング鋼とSUS  
630(17-4PH)

JISQ9100を  
取得している神奈川工  
場に増設する3Dプリ  
ンターは、3Dシステ  
ムズ社の「Proxi  
DMP200」。最大

